

教室で読むということ なぜピア・リーディングなのか

ICU日本語教育研究センター主催 連続講演会
「読解：認知的過程から読解教育への応用まで」

第3回講演会 館岡洋子先生

日本語教育では、初級から上級まで、いわゆる「読解」という授業が展開されています。個人的な認知活動である「読む」という行為を教室で行うということは、どういうことなのでしょう。授業者が何をめざすかによって、多様な読む活動が考えられます。本講演では、クラスメイトとともにテキストを読むということを媒介として、テキストのテーマについて深く考え、自分自身および他者（クラスメイト）について知るということをめざした授業についてご紹介し、「教室で読む」ということについて考えたいと思います。

日程

3月9日（木）

時間

15:00～17:00(受付14:45～)

場所

国際基督教大学
ダイアログハウス2F国際会議室

講師

館岡洋子氏（早稲田大学大学院）

《講師プロフィール》
館岡洋子（TATEOKA, Yoko）

早稲田大学大学院日本語教育研究科・教授。
早稲田大学大学院教育学研究科・博士後期課程修了。博士（学術）。
アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター、東海大学留学生教育センターを経て、
2007年より現職。関心分野は、日本語教育学、学習環境デザイン、実践研究。

参加費
無料

著書に『ひとりで読むことからピア・リーディングへー日本語学習者の読解過程と対話的協働学習』（2005年、東海大学出版会）、『ピア・ラーニング入門ー創造的な学びのデザインのために』（2007年、共著、ひつじ書房）、『プロセスで学ぶレポート・ライティングーアイデアから完成まで』（2011年、共著、朝倉書店）、『読解教材を作る』（2012年、共著、スリーエーネットワーク）、『協働で学ぶクリティカル・リーディング』（2015年、ひつじ書房）、『日本語教育のための質的研究入門ー学習・教師・教室をいかに描くか』（2015年、編著、ココ出版）などがある。



お申込はこちらのURLから

URL <http://kokucheese.com/event/index/450815/>

TEL 0422-33-3501 日本語教育研究センター事務室